

目次 -CONTENTS-

特集 病院情報システム（電子カルテ）の更新について	1
●特色ある診療内容：診療科・部門紹介－皮膚科－	2
●岐阜大学医学部附属病院 診療案内	3
●コンビニ収納について	3
●位置図・岐阜バス岐阜大学病院行き系統・路線図・ 病院へのアクセス・病院駐車場のご案内	4
●内視鏡外科手術トレーニングセンター紹介	5
●緩和ケアについて	5
●患者サービス－医療連携センターの紹介－	6

病院の理念と基本方針 あなたとの対話が創る信頼と安心の病院

●基本方針●

1. 患者中心のチーム医療を提供します。
2. 人間性豊かな医療人を育成します。
3. 先進医療の研究・開発・提供を実践します。
4. 地域医療への積極的参画と連携強化を図ります。

特集

病院情報システム（電子カルテ）の更新について

病院長補佐（電子診療録担当） 白鳥義宗

■病院情報システム（電子カルテ）更新のご案内

当院では、今年1月より入院診療・外来診療共に病院情報システム（電子カルテ）を最新のものに更新致しました。旧システムは2004年6月の新築移転時より使用を開始し、全館に光ファイバー・ネットワークを張り巡らせ、フィルムレス・ペーパーレスで全てが電子化された世界でも有数のIT病院として高い評価を頂いておりました。今までに世界40数カ国から300組以上の見学者も受け入れており、日本のコンピュータ技術の素晴らしさを広くご紹介する場にもなっておりました。この間電子カルテは一度のシステムダウンも経験せず、安定して動き続けておりましたが、コンピュータ技術の進歩は著しく、更なるレベルアップのためにシステムを更新することとなりました。

■新システムの特徴

患者さんにも医療スタッフにも安心して頂けるような診療支援のための工夫が施されています。

①透明で安全な医療の実現

最先端の指静脈認証（生体認証）装置を導入するなどして、個人識別のセキュリティを上げ、個人情報保護の徹底が図られています。同姓同名の患者さんでも間違いのないようなチェック・システムを導入しています。使用した薬剤の種類やロット番号などあらゆるデータがきちんと記録・管理され開示されます。

②データの迅速化と更なる利用推進

採血検査や画像検査などあらゆるデータ・情報が一元管理されています。更なるシステムの改善により、診断結果が出るまでのスピードアップ化を図っています。また、過去のデータを上手に利用して診療に生かす仕組みを構築しています。他院からのデジタル画像データを利用できます。

③チーム医療の推進

ひとりの患者さんを多くの医師または多職種のスタッフで相談しながら最善の医療を行っていく上で、電子カルテは情報共有の強力な武器となっています。それにより効率的な医療が行えるようになっていきます。さらに医療スタッフ間の情報共有を行いやすくするためチーム管理ツールも導入しています。

今後も多くの医療データがすぐ診療に役立つよう配慮した「インテリジェント・ホスピタル」と呼ぶにふさわしい病院になるべく、更にレベルの向上を続けていきます。しかし、コンピュータ化された冷たい病院ではなく、暖かみのある、それでいて最高の医療を安心して受けて頂けるような病院を目指し医療環境の整備をしていきますので、安心して診療をお受けください。



▲病院情報システム（電子カルテ）の更新

特色ある診療内容：診療科・部門紹介 — 皮膚科 —

皮膚科は皮膚におこる疾患を専門に診療している科です。岐阜大学皮膚科には初診、再診の他に乾癬（かんせん）、レーザー、腫瘍、アトピー、膠原病、水疱症、脱毛症、フットケア、光線治療、針治療という特殊外来があり、各担当医が精力的に行っています。皮膚科の治療は内服薬、外用薬や手術だけでなく、皮膚科特有の治療としてレーザー治療と光線治療があり、現在、当科でも力を入れています。

▶ レーザー治療（赤あざ・青あざ・茶あざの治療）

レーザーというのは、ある色調に特定の波長のレーザーを照射すると、目的とする細胞が傷害を受けることを利用して行う治療です。たとえば青あざではメラニンという色素を破壊することを目的とします。

月曜午後のレーザー外来では、赤あざ（単純性血管腫、いちご状血管腫）に対しては色素レーザーを、青あざ（太田母斑、異所性蒙古斑）、茶あざ（扁平母斑）に対してはQスイッチアレキサンドライトレーザーという装置を用いて治療しています。レーザー治療は1回の照射で完治するわけではなく、数回の照射が必要になることもあります。治療効果を判定するために初回は小範囲にテスト照射する場合もあります。開始時期は、なるべく早期に治療を開始する方がより効果的であることから、当科では0歳児から開始しています。

レーザー照射時には、輪ゴムで弾かれたような痛みがありますので、幼児や痛み弱い方には、麻酔のクリームを塗布したり、局所麻酔をすることで、痛みを和らげながら治療します。

2009年には色素レーザー照射を130名の患者さんに、Qスイッチアレキサンドライトレーザー照射を121名の患者さんに行いました。

その他に炭酸ガスレーザーや高周波メス（サージロン）を用いた母斑の治療も行っています。



▲レーザー外来の医師たちと装置

▶ 光線治療（紫外線治療）

いくつかの皮膚疾患では紫外線の照射が有効です。長波長紫外線（UVA）あるいは中波長紫外線（UVB）という波長の異なる紫外線を用います。UVAの場合にはオクソラレンという薬を外用した後に照射し、この治療はPUVA療法と呼ばれています。当科にはUVAとUVB照射用に3台の装置があります。さらに、UVBの中で、特に有効性の高い、ナローバンドUVBの全身照射用装置があり、広範囲の皮疹に一度の照射で済みますし、光の当たりにくい場所も均一に当てることができます。

しかし、光線治療では、日焼けをおこすことがあります。日差しに強い肌、弱い肌があるように、紫外線に対する反応も個人によって異なります。そこで照射量を調節しながら治療します。

紫外線治療を行う疾患は、乾癬、類乾癬、掌蹠膿疱症（しょうせきのうほうしょう）、菌状息肉症（きんじょうそくにくしょう）、皮膚悪性リンパ腫、白斑（はくはん）、アトピー性皮膚炎、円形脱毛症などです。毎週水曜午前、午後と金曜午前の光線治療外来で照射をしています。疾患によって治療回数は様々ですが、平均して1週間に1回照射し、効果をあげています。2009年には79名の患者さんに行いました。



▲看護師とナローバンドUVBの装置

▶ 今後の展望

レーザー治療、光線治療とも、装置の改良、開発、発展が今後予想される分野です。当科では新たな治療を積極的に取り入れて、患者さんに最も適した、最先端の治療が受けられるように努力したいと思います。

（文責：藤澤智美）

●外来診察日一覧

凡例 △：初診・再診 ○：初診 △：再診 休：休診

診療科（臓器別名）	月	火	水	木	金
消化器内科	△	○	△	△	△
循環器内科	△	△	△	○ [※]	△
腎臓内科	△	△	△	休	△
呼吸器内科	△	休	△	△	△
血液・感染症内科	△	△	△	△	△
東洋医学	△ ^{午前}	△ ^{午前}	△ ^{午前}	△ ^{午前}	△
糖尿病代謝内科	△	△	△	△	△
免疫・内分泌内科	△	△	△	△	△
神経内科・老年内科	△	△	△	休	△
総合内科	△	△	△	△	△
心臓血管外科	△	△	△	△	△
呼吸器外科	△	△	△	△	△
消化器外科	△	○	△	△	△
乳腺外科	△	予約のみ	△	休	△
甲状腺外科	△	△	△	△	△
腎移植外科	休	△	△	△	△
成育医療科・女性科（産科婦人科）	△	△	△	△	△
整形外科	休	△	△	△	△
脳神経外科	△	△	△	△	△
眼科	△	△	休	△	予約のみ
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	△	△	休	△	○
形成外科	休	△	休	休	△
皮膚科	△	○	△	△	△
泌尿器科	○	△	△	○	△
精神神経科	△	△	△	△	△
小児科	△	△	△	△	△
放射線科	△	△	△	△	△
放射線診断、IVR	△	△	△	△	△
放射線治療	△	△	△	△	△
麻酔科・疼痛治療科	△	△	○※	△	△
歯科口腔外科	△	△	△	△	△
総合診療部	△	△	△	△	△

※診察日は、変更する場合がありますのでご了承下さい。

※麻酔科疼痛治療科の初診は、特殊外来のみ、診療時間：10時～11時

受付時間/診察開始時間/休診日/面会時間

初・再診受付：8：30～11：00

診察開始時間：9：00～

休診日：土・日曜日、祝祭日、年末年始

面会時間：10：00～21：00

●外来受診の方法

◇初診の方は、1階ホールに設置の記載台にて診療申込書に必要事項を記入いただき、保険証を提示の上初診窓口で受付をします。受付後、それぞれの診療科をご案内します。

◇再診で予約なしの方は、再診窓口にて当日の予約をし、それぞれの診療科受付へお越しください。

◇予約のある方は直接2階の総合受付又は当該診療科の受付へお越しください。受付では、診察券を提示いただきます。受付担当職員が診察券を受付機に通すことによりそれぞれの診療科の受付が完了します。受付完了後は、各診療科の待合いでお待ちください。

◇各診療科待合いの大型ディスプレイに、ご自分の番号が表示されましたら診察室にお入りください。

●予約診療

◇本院は、基本的に再診は予約制となっています。初診で受診され、次の診察が必要な場合には、医師が診察直後に患者さんと相談の上、次の診察日及び診察時間を設定し予約します。会計窓口で会計処理の際、診察券の裏面に次回診察日時が印刷されます。

◇次回予約がなく、再度診察を希望される場合は、予約センター（058-230-6123・6124）にお電話いただき、診療予約をとっていただくこととなります。

◇予約がなく、直接来院された場合、再診窓口にて当日予約を取ることも可能ですが、この場合は当日に担当医が不在で、別の医師となることもあります。なお、初めて本院を受診される方及び本院の他の診療科を初めて受診される方は予約できません。

●診療費のカード払いについて

① 診療費のお支払いは、DC、UFJ、NICOS、VISA、Master、JCBのクレジットカードがご利用になれます。

ご利用は、1階ホールの自動支払機（ご利用時間は、平日の9時から17時まで）と夜間受付の自動支払機（ご利用時間は、平日の18時から翌日8時まで、休診日の0時から24時まで）でご利用になれます。ご利用の際には「診察券」が必要となります。なお、クレジットカードは窓口でご利用になれません。

② お支払方法は、「1回払い」のみのお取扱いとなります。（分割／リボ払いのお取扱いは出来ません。）

③ ご利用には、「暗証番号」が必要となります。なお、カードに関するご照会等は、クレジットカードの裏面に記載のカード発行会社等へお問い合わせくださいますようお願いいたします。

コンビニ収納について

診療費のお支払いは、平成21年11月から窓口支払、銀行振込、各種クレジットカード払いの方法に加え、全国40,000店舗以上あるお近くのコンビニエンスストアで毎日24時間気軽にお支払いが可能となり、たいへん便利になりました。

ご利用は、支払窓口へお申し出ください。ただし、お支払いできる額は、30万円未満です。なお、お支払手数料は、右記のとおりになっています。

お支払額	手数料
1万円未満	63円
1万円～3万円未満	105円
3万円以上	315円

●位置図



●病院へのアクセス

◇鉄道をご利用の方

JR東海で「岐阜駅」下車
名古屋鉄道で「名鉄岐阜駅」下車

◇バスをご利用の方

岐阜バス
岐阜大学病院線・岐南町線で「JR
岐阜駅前、名鉄岐阜駅前」乗車、岐阜
大学病院下車 所要時間 30～40 分
(運賃：JR 岐阜駅、名鉄岐阜駅から 310 円)

◇タクシーをご利用の方

JR 岐阜駅、名鉄岐阜駅から約 20 分
(約 3,000 円)

●病院駐車場のご案内

本院では、約500台が駐車できる外来患者駐車場を用意しています。

【駐車整理料金等】

- 外来患者：受診日当日……………無料
- 入院患者：入・退院日当日……………無料

◇確認の時間・場所

外来患者さん及び入・退院患者さんは、受診等当日に駐車整理券を以下の時間、場所に提示し、確認を受けてください。

- ・外来患者：平日8時30分～17時15分
(1階会計窓口)
- ・入・退院患者：平日8時30分～17時
(1階入退院受付)
- ・その他の時間 (1階夜間受付)

○一般外来者(面会・お見舞い・付き添い他)

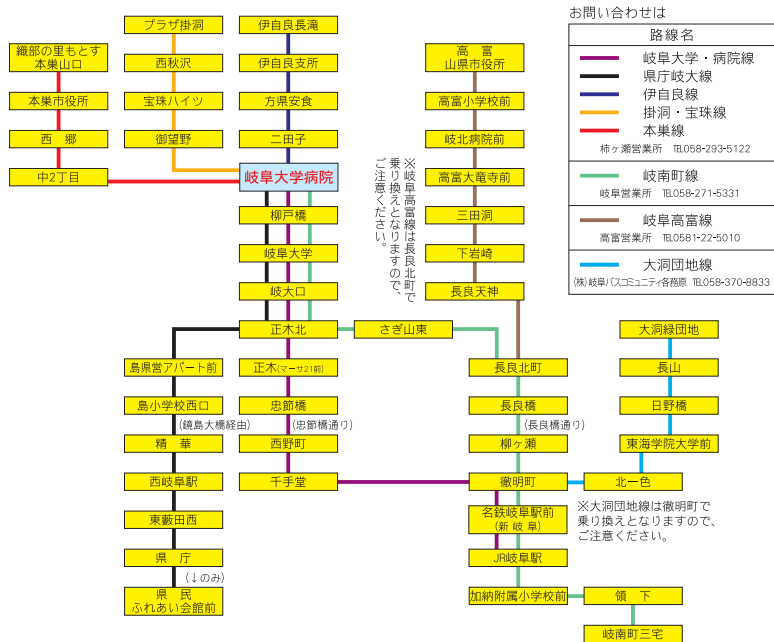
- ・入構から30分まで……………無料
- ・入構から30分を超え90分まで……………200円
- ・入構から90分を超え24時間まで……………200円
に90分を超える1時間までごとに100円を加算した額。ただし、その額が500円を超えることとなる場合は500円
- ・入構から24時間を超える場合……………500円
に24時間までごとに500円を加算した額

なお、入院中に駐車されている場合(入・退院日当日を除く)は、1日あたり500円の駐車整理料金をお支払いいただくことになります。

(ご注意)

駐車整理料金は、現金または病院内で販売されているサーブ(IC)カードで精算願います。現金での料金精算には小銭が必要となりますので、予めご用意願います。(1万円札・5千円札・2千円札は使用できません。)

●岐阜バス岐阜大学病院 系統・路線図



病院広報 鵜舟第14号

平成22年3月発行

発行／岐阜大学大学院医学系研究科医学部情報委員会附属病院部会

〒501-1194 岐阜市柳戸1番1 TEL(058)230-6000(代表)

岐阜大学医学部附属病院ホームページアドレス <http://hosp.gifu-u.ac.jp>

内視鏡外科手術トレーニングセンター紹介

内視鏡外科手術トレーニングセンター長 岩田 尚

本年1月より私が泌尿器科の出口科長から引き継ぎ、内視鏡外科手術トレーニングセンターが本格稼働致しました。

副センター長に第二外科の山口和也医師、アニマルラボ部門長に泌尿器科の横井繁明医師、ドライラボ部門長に第一外科の關野考史医師と、現在、附属病院で内視鏡外科手術を精力的に施行している医師を中心として、産科婦人科の古井辰郎医師、整形外科の伊藤芳毅医師、伊藤友美副看護部長、倉坪弘一事務部長が関わり準備が整いました。

アニマルラボでは、生命科学総合研究支援センターの二上英樹先生（動物管理）および応用生物科学部（獣医学講座）の星野有希先生（麻酔管理）の全面協力により、豚2頭に対して内視鏡手術を施行できる準備が整い、本年3月13日に稼働チェックセミナーを開催しました。

ドライラボは、5台のトレーニングボックスに加え、バーチャル手術を可能にするシミュレーターを装備しました。また医学教育開発研究センターの鈴木康之教授のご厚意でスクリーン映写可能なトレーニングボックスも設置しました。本年2月11日には、「第一外科手術手技セミナー」にこのセンターを利用していただいております。

このセンターでは、大学内外からの要請に応じてセミナー、実習ができるように計画してあります。ご興味がある方は是非とも私どもにご一報ください。

来年度は、外科系分野を希望する研修医対象にトレーニングプログラムを院内外科系診療科の協力のもとに策定し施行していく予定です。また手術部看護師対象のセミナーも計画しています。未来の地域医療に貢献していただくために、岐阜県内の中学、高校生を対象とした「内視鏡外科キッズセミナー」も考えております。

岐阜大学および附属病院当局に全面支援をうけて創設されたこのセンターです。これをフル稼働させ、岐阜県の外科医療レベルの向上に少しでも寄与できたら幸いに感じております。皆様方のさらなるご協力をお願いする次第です。



◀内視鏡外科手術トレーニングセンター

緩和ケアについて

岐阜大学医学部附属病院がんセンター 緩和医療部門長 竹中 元康

■ 発 祥

緩和ケアは中世ヨーロッパにおいて誕生した旅人・巡礼者・孤児・病人・貧困者などを援助する場所ホスピスをその発祥としており、その対象は、疾患の治癒を目指す治療ではなく、疾患があるがゆえに生じる苦痛であり、さらに緩和すべき苦痛は原疾患に対する治療が行われているときでも、行われなくなったときでも存在し、原疾患に対する積極的な治療と対立するものではなく、併存もしくは連続するものであるとされています。したがって悪性疾患にかざらず生命を脅かす疾患全てが対象となります。

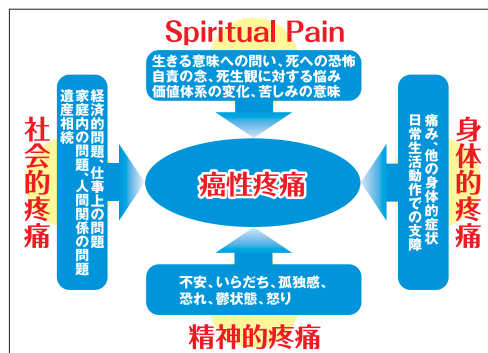


▲時期ではなく、苦痛にあわせた緩和ケア

WHOは、「生命を脅かす疾患に伴う問題に直面する患者と家族に対し、疼痛や身体的、心理的社会的、スピリチュアルな問題を早期から性格にアセスメントし解決することにより、苦痛の予防と軽減を図り、生活の質を向上させるためのアプローチである」と定義しています。

■ がんの痛み

がんの痛みは、単なる痛みだけではなく不眠・不安・抑うつなど様々な症状を呈するようになり生活と生き方の両者を阻害します。（トータルペイン）



◀Total Pain

■ 緩和ケアチームの治療

がんの痛みの治療には、鎮痛薬（消炎鎮痛薬、麻薬）などによる疼痛管理だけではなく、精神面や栄養面のケアも非常に重要ですので患者さんとのコミュニケーションをはかり治療目標を設定しながら進めていきます。したがって当病院の緩和ケアは身体疼痛・精神・栄養の専門家に加え薬剤師・看護師からなるチームで総合的なケアを行っています。

医療連携センターの紹介

医療連携センターでは、表に示す患者さんやご家族からの相談をお受けしています。
医療連携センターは、病院玄関近くにあり、10人のスタッフがお待ちしています。
相談は、できるだけ事前に電話等で相談日時を予約の上、お越しいただきますようお願いいたします。
その他、医療機関からのFAXを利用した患者さんの診療等予約（午前8時30分から午後5時）も行っています。

相談内容	相談時間等	相談内容等
女性専門相談	予約制 月曜日14:00～16:00	女性医療スタッフによる健康相談
こころの相談	予約制	療養に関する心理的・社会的な相談
看護相談	随時	患者さんご家族の療養についての相談 在宅看護・退院に伴う相談
医療福祉相談	8:30～17:00	医療費・生活費などの経済的問題や社会福祉制度の相談 療養生活、転院、退院に伴う相談
がん相談	9:00～16:00	がんに関わる医療やがん患者さんの生活についての相談
難病相談	8:30～17:00	難病の患者さんが安心して住みなれた地域で療養できるための相談
セカンドオピニオン	予約制	診断や治療法について主治医以外の意見を聞くことに関する相談
要望、苦情等	8:30～17:00	診療についての要望、苦情等の受付

医療連携センター TEL 058-230-7033 FAX 058-230-7035

看護師募集！！

＝明日に向かって羽ばたこう＝

- ◆平成20年5月1日から7対1看護師配置を実施しています。
- ◆常勤・非常勤看護師ともに募集しています。
- ◆勤務形態・配置場所・採用日など相談に応じます。
- ◆いろいろな経歴の看護師が活躍しています。
- ◆育児部分休業や夜勤専従を導入しています。
- ◆大学保育園があります。

*病院見学及び詳細な説明をご希望の方は下記にご連絡ください。

医学部附属病院総務課人事係：058-230-6055 看護部事務室：058-230-7287



初期後期臨床研修医募集！！



未来のシステムを先取りしたトータル・インテリジェント・ホスピタルで医師としての第一歩をスタートさせ、地域医療に貢献しませんか？
詳細は下記まで

医学部附属病院総務課人事係
TEL：058-230-6055
E-mail：gjha01007@jim.gifu-u.ac.jp